



みみふくだより

令和2年3月3日発行
第5号

暖かい日差しが感じられる3月となりました。寒さと暖かさを繰り返しながら、春に向かっていく季節の変わり目。平成から令和へと時代が動いた一年を振り返ると、福島校にとっても、今年度は大きな変化があった一年でした。慣れ親しんだ旧校舎とお別れし、二学期から新しい校舎での学習が始まったことで、子どもたちの学習環境、補聴環境にも変化がありました。

*~**~* 集団補聴システム ロジャー *~**~*



ロジャーは以前から使用していましたが、送信機が「インスパイロ」から「タッチスクリーンマイク」へと新しいものになりました。また、各教室には自動で送信機と受信機を同期することができる「ウォールパイロット」やホールなどの広い場所でタッチスクリーンマイクからの音を流す線音源スピーカー「デジマスター」も配置されました。活動の流れや話者の人数等に応じて、複数のタッチスクリーンマイクを同時に使うなど、より聴覚を活用して、理解したりやりとりしたりする助けになっています。



ウォールパイロット

日頃の学級での授業に加えて、
こんなときにつかっています！



交流校新校舎招待（小学部）



おたのしみ会（幼稚部）

*~**~* 音をからだで感じる Antenna *~**~*

音を振動で感じることができる「Antenna」を使っています。60~90dBの音や声に反応して、クリップで衣服や髪等に留めたAntennaが振動し、音の強弱やリズムなどを感じることができます。今後、授業等での活用の幅を広げていきたいと思えます。



Antenna（オンテナ）



リコーダーの音を感じたよ！
（小学部 音楽）



教員も体験しながら、使い方を
研修しました。



保護者の皆さんにも体験して
いただきました。

福島校 幼稚部・小学部 「冬のお話会」

1月17日（金）に幼稚部、24日（金）には小学部で、「冬のお話会」を行いました。

幼稚部では、「伝えたい」という意欲をもってみんなに伝えることを目標に、身近な出来事やおでかけしたことなど、それぞれに冬休みの思い出を発表しました。



小学部では、興味のあることや調べたことなどを、どうしたら伝わるかを考えながら準備し、それぞれの得意なことや調べて深めたことが伝わる発表となりました。

お話会当日は、保護者の皆様や小学部で日頃から交流を重ねている視覚支援学校の友達、先生方の参加もあり、質問したり感想を述べあったりと、発表だけでなく活発なやりとりも生まれました。伝え合うよい機会となりました。

* * * * *



寒暖差が激しいこの季節。花粉症の症状、風邪やインフルエンザ等の感染症等で体調を崩しやすい時期でもあります。中耳炎等の耳の病気を併発することもありますので、お子さんの体調とともに、耳やきこえの状態の観察もしていきましょう。

* * * * *

《編集後記》 今年度は、当校及び当センターにとって、大きな変化の一年でした。新しい校舎や設備になったこともあって、多くの方が来校され、聴覚障がいのお子さんの困り感やそれを補う手だてやかかわりについて、また地域支援センター「みみらんど ふくしま」の機能についても、お伝えする機会をいただきました。この機能をさらに発揮できるよう令和2年度も取り組んでまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



連絡先 福島県立聴覚支援学校 福島校
TEL&FAX 024(531)5013
アドレス <https://fukushima-sd-fukushima.fcs.ed.jp>
担当 地域支援センター「みみらんど ふくしま」
今野千寿（特別支援教育コーディネーター）

こちらのQRコードからHPにアクセスできます。

